



女性防災会
活動報告 27

防災ゲームクロスロード♪

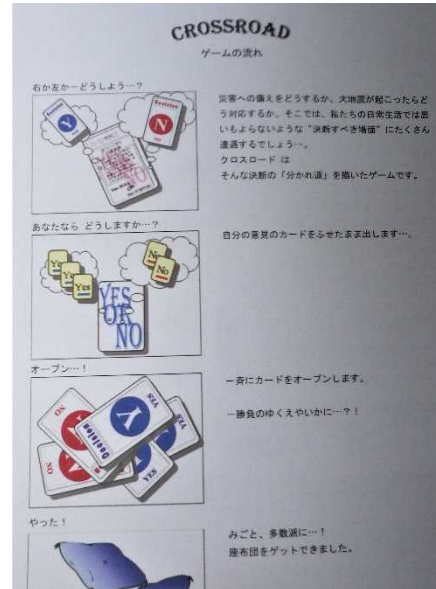
役員研修会

日時：令和元年 9月 28日（土）
場所：北島町総合庁舎 6階大会議室（和室）
参加：女性防災会会員

災害対応カードゲーム「クロスロード」は、カードを用いたゲーム形式による防災教育教材です。

阪神・淡路大震災において災害対応にあたった神戸市職員のジレンマを、ゲーム参加者が自らの問題として YES か NO で答えをだし、どうしてその答えになったのか意見交換を行うゲームです。

防災士の養成講座でこのゲームを体験してきた話を聞いて、会でもやってみましたので、メンバー二人の感想を報告します。



【A.Sさんの感想】

私は市民であってその自分の立場から離れることができなかった。「役場職員の立場で発災時にすぐ出勤するか」や、「消防士の立場で移動時に出くわした火事を消すか」の問いで、どうしても心情や家族を優先しがちになりました。それでは収拾がつかなくなくなるのだろうかあと反省しました。判断力をつけるためにも災害時のシステムや流れを知ったり、想像したりすることが大事だと思いました。

【Y.Sさんの感想】

1つのお題に YES or NO で答えますが、理由を一人一人聞いていくと近い考えがあったり、全く違う視点からの考えを発見できたり、納得することや、そこから更に考えさせられることがありました。お題の物事を想像して答えを出



【一般編2005】

あなたは…
消防隊員

ようやく1カ所の消火を終え、指令にしたがって次の消火地点へ移動中。だが、住民がやってきて近くの火事を消して欲しいと腕を引っ張る。確かに炎が見えるが命令も重要だ。

住民の要請に応じる？

Yes (応じる)
OR
No (応じない)

すことは、非現実ではなく実際に起こりうることだと改めて感じられ、更に防災意識が深まる物だと思いました。そして、何より話をした人と心が近くなります。相手の気持ちや考えを受け入れて一緒に防災を考えていくことができ、共助の心が作られるように思いました。

この感想を読んで「クロスロードをやってみたい!」と思った方は、女性防災会までご相談ください。一緒にやりましょう!

(女性防災会 LINE 報告より引用・抜粋)